

日本小児血液・がん学会員のみなさま

平素より JCCG の活動にご理解いただきありがとうございます。

さて、今年度、国のがん研究の方向性と研究事項について、がん研究10か年戦略(第5次)に移行しました。その中に、「がん医療の進展に伴い、多様な治療選択肢が生まれたことや、がん患者・経験者が長期生存することで、患者のニーズは多様化している。こうした現状を踏まえ、新規治療法の開発と並行して、治療最適化の観点や、支持療法 及び 緩和ケアにおける幅広いアンメットメディカルニーズに応じた標準治療の確立に関する研究の推進が求められる。」と記載されており、小児・AYA 世代を対象とした支持療法・緩和ケアの開発が求められています。しかし、令和6年度 AMED1次公募において公募課題があったにもかかわらず応募がなく、研究者の認識や研究体制づくりが十分とは言えません。

そこで、すでに AMED や厚労科研で採択されている小児がんの支持・緩和ケア領域の取り組みを紹介する機会を設けてこの領域の研究の進め方について意見交換を行いたいと思います。

これらの研究は、必ずしも JCCG 研究ではありませんが、今後、医師のみならず、他職種の研究者や当事者を仲間に加えて、患者ニーズに応える研究開発を進めることが必要です。急なご案内となり申し訳ありませんが、奮ってご参加ください。

また、折角の機会ですので、是非、支持・緩和ケア領域の研究に取り組まれている他部門・他職種の研究者・医療従事者にもお声がけ下さい。

なお、演者の都合で、2 回に分けて Web 開催にて行います。

各日、Zoom URL より事前登録の上、ご参加下さい。

また、お手数おかけいたしますが、ご登録の際は、

姓:ご所属・職種

名:お名前をフルネームをご入力ください。

どうぞよろしくお願いいたします。

---

第1回:6月19日(水)19時~20時

司会:康 勝好(JCCG 副理事長)

研究班紹介1

AMED 革新的がん医療実用化研究事業

「びまん性内在性橋グリオーマ(DIPG)のレジストリ構築および緩和ケアの実態解明を目的とした多施設共同前方視的観察研究」

研究開発代表者:鈴木智成(埼玉医科大学国際医療センター)

研究班紹介2

AMED 革新的がん医療実用化研究事業

「網膜芽細胞腫患者・家族の包括的支持緩和ケアの前向きコホート研究」

研究開発代表者:鈴木茂伸(国立がん研究センター中央病院)

《6月19日 Zoom URL》

<https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZYkduuvrD4tGdNehZWAN0nIGr65P19IC-vF>

第2回:7月1日(月)19時~20時

司会:田尻達郎(JCCG 副理事長)

研究班紹介1

厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)

「小児がん患者在宅移行の円滑化促進と在宅療養における課題とニーズ把握のための研究」班

班長 大隅朋生(国立成育医療研究センター)

研究班紹介2

厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)

「小児がん拠点病院等及び成人診療科との連携による長期フォローアップ体制の構築のための研究」班

班長 松本公一(国立成育医療研究センター)

《7月1日 Zoom URL》

[https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZwtdu2orjgsGNafMTch7zEYrFZuKe29TY3S](https://us06web.zoom.us/join/https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZwtdu2orjgsGNafMTch7zEYrFZuKe29TY3S)

JCCG 理事 真部 淳